

Ⅱ 発育段階別食物環

背套長 63~315 mm の範囲の個体 75 尾の胃内容を調査した結果を表-4 に示した。背套長 63 mm 以上のイカの餌料生物の出現状況を見ると、魚類主体であり、体長による餌料生物相の変化及び季節的な変化はみられない。魚類以外には、長尾類、頭足類、貝類、シャコ類が僅かに出現した。頭足類ではイカが主体であり、友食いの傾向がみられた。空胃個体はほぼ周年出現するがその割合は小型個体ほど高くなっている。

表-4 アオリイカの背套長別胃内容物出現量

+++	100%	出現
++	50%	"
+	30~50%	"
-	30%以下	"

調査月日	体長 (mm)	調査尾数	胃内容物					
			空胃	魚類	長尾類	貝類	頭足類	シャコ類
48年 6月15日	74 ~ 97	4	2	++				
	105 ~ 130	6	4	-				
8月8日	63 ~ 95	10	3	-	+		-	
	100 ~ 130	13	5	++	-	-		
	150 ~ 180	3	1	++				
10月19日	95 ~ 100	1	1					
	105 ~ 145	9	1	++	-			
49年 1月18日	125 ~ 155	2		+++				
	190 ~ 200	3	1	+++			-	-
	210 ~ 270	3		+++				
2月19日	95 ~ 100	3	3					
	100 ~ 140	10	8			-		
	175 ~ 315	8	4	++			-	